

# 跡見学園女子大学 学報



©角川武蔵野ミュージアム ©KENGO KUMA&ASSOCIATES ©KAJIMA CORPORATION

令和2年度当初よりコロナ禍の影響を受け、学生の皆さんの活気ある姿をほとんど見ることのない寂しいキャンパスの風景が1年あまり続いています。本学では、本号の記事にありますように、今まで経験したことのない環境の中で、春学期よりオンライン授業を開始し、秋学期からは一部の演習・実技科目の対面授業を復活させるなど、試行錯誤しながら学生の皆さんへのサポートをしてまいりました。学生の皆さんも、オンライン授業中心の授業形態となり、今までとは大きく異なった学生生活を過ごされたことと思います。現在、本学では令和3年度に向け、多くの対面授業を開講するように準備を行い、Wi-Fi環境をはじめとする教育環境の整備を進めているところです。

卒業を迎える4年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの今後の飛躍を祈念しております。在学生の皆さんは桜が咲く頃のオリエンテーションを皮切りに新年度を迎えます。活気ある在学生の皆さんにお会いできる日を、教職員一同心待ちにしております。

跡見学園女子大学学報は、昭和55年に発行された創刊号から数えて第100号を迎えました。今後も年2回発行し、跡見学園女子大学の“いま”をお伝えし続けてまいります。

## 記事内容

○コロナ禍における授業と学生支援について .....	2～3
○学生会情報 ○学生の表彰 ○学生活動の紹介 .....	4
○クラブ・愛好会体験入部会2020報告 ○CLUB NOW .....	5
○2020年度 学内講演会開催報告 .....	6
○2020年度 各種研究助成報告 .....	7
○就職課 Information .....	8
○ICT環境整備について .....	9
○国際交流活動の紹介 ○地域交流活動の紹介（朗読コンテスト） .....	10
○地域交流活動の紹介（菊坂跡見塾） ○大学NEWS .....	11
○2021年度 花躰記念資料館展示スケジュール	
○2021年度春学期オリエンテーションおよび学生定期健康診断予定	
○春の行事予定 ○履修申請 ○Open Campusのご案内 .....	12

## コロナ禍における授業と学生支援について

### ○はじめに

今年度は、年度当初より新型コロナウイルス感染症対策に追われる異例の年となりました。感染が広がる中、入学式・春学期オリエンテーションは中止、構内立入禁止措置、授業も予定通り開始できず、困難なスタートとなりました。そのような中でも、学生の学修機会確保を最優先とし、5月11日(月)からオンラインでの授業をスタートさせました。試行錯誤での実施でしたが、学生の声も聴きながら徐々に改善を図ってきました。また、学生支援の施策も充実を図ってきました。今号は、そうした本学のコロナ対応の施策について報告いたします。

### ○授業について –オンライン授業&ハイブリッド授業–

春学期はすべての授業がオンラインでしたが、秋学期は実習・実技科目を中心に、土曜4限・補講期間・集中講義期間のみ対面授業を行うこととしました。その後、各種ゼミと大学院の科目についても、11月9日(月)より対面授業を開始しました。対象の科目は1年生の全学部の「プロゼミ」、2年生の文学部の「研究入門」、2年生のマネジメント学部の「実践ゼミナール」、3・4年生の全学部の「演習」で、コロナ禍が払拭された社会状況ではありませんでしたが、教室の換気やアクリル板の設置など、感染防止に配慮して実施に至りました。通学する学生数を絞っての実施となりましたので、対面授業の回数は、1・4年生が各3回、2・3年生が各1回となりました。また、事情により対面授業に参加できない学生もいたため、オンライン授業を併用したハイブリッド型の授業を実施し、学生の不利益にならないよう配慮しました。

また、オンライン授業に関する質問や要望に対応するため「オンライン授業支援窓口」を設けました。

### ○学生の施設利用 –入構制限とその後の制限緩和、検温について–

6月1日に緊急事態宣言が全国的に解除となり、本学も感染拡大を防ぎながら、段階的なキャンパス開放にむけ、以下のように措置してきました。

- 1) 構内立ち入り禁止の解除措置(第1段階) 6月15日(月)～6月28日(日)  
図書館やPC教室など一部施設の利用制限の緩和(事前予約制、非接触温度計による検温の実施など)
- 2) 構内立ち入り禁止の解除措置(第2段階) 6月29日(月)～9月30日(水)  
上記に加え、証明書自動発行機の利用、就職課(相談対応)、心理教育相談所(相談対応)等の開始
- 3) 構内立ち入り禁止の解除措置(第3段階) 10月1日(木)～  
秋学期授業開始に合わせ、入構制限措置の全面解除(事前予約制から入構届出制へ変更)  
10月28日(水)両キャンパスにサーマルAIカメラ20台を設置。入構時の検温強化。

今後も、新型コロナウイルスの感染状況に伴い、感染防止対策を強化しつつ、柔軟かつ適切に対応していきます。

### ○経済的支援 –修学支援金、学内奨学金–

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済的支援策として、「高等教育の修学支援新制度(給付奨学金・授業料等減免)」の家計急変採用、アルバイト収入の減収等に対する支援として「学びの継続のための学生支援緊急給付金」を3回募集を行いました。

本学独自の支援策としては、オンライン授業への移行に伴う学生の支出増に対応するために、休学中の学生を除く全学生に1人当たり5万円の「学生への修学支援金」の支給を5月15日に実施しました。

また、跡見学園女子大学後援会修学援助奨学金と跡見校友会一紫会修学援助奨学金については、予算を大幅に増額して募集いたしました。

## ○学生生活支援

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、キャンパスの入構制限措置により、従来の窓口対応がかなわず、電話やメールによる相談対応を行いました。また、保健室・学生相談室・学生支援室の相談も、電話およびオンラインで継続しました。加えて、奨学金等の書類提出については、オンラインストレージ「OneDrive（ワンドライブ）」を活用しました。なお、10月1日以降の入構制限解除後は、対面での窓口対応・相談業務も開始しました。

また、課外活動自粛期間中は、ポータルサイトでの新入生歓迎オリエンテーションの開催や、オンライン部長会（学生会・クラブ団体代表者・職員での情報共有）を実施しました。

## ○情報環境の整備

オンライン授業の実施決定後、授業に必要なマニュアルを作成しました。特に、授業での活用が見込まれるMicrosoft365については、PDFならびに動画のマニュアルを作成し、問い合わせの多い内容は『よくある質問』として大学公式サイトに公開しています。自宅でのオンライン授業受講が困難な学生に対しては、学内のPC教室を開放しています。また、秋学期の対面授業再開に伴い、教卓PCにWebカメラを設置するとともに、教員卓ならびに対面型の学生席にはパーテーションを設置しました。

## ○図書館サービス

コロナ禍で大学への入構が制限される中、図書館では非来館型サービスを推進しました。EZProxyシステム導入により、学内利用限定であった検索データベースを学外からアクセス可能とし、学外から利用できる電子ブックも大幅に拡充しました。さらに、学生が自宅で図書館資料を利用できるよう、図書の配送貸出、利用終了後の図書返却配送着払い受付、文献複写物配送を図書館の費用負担で実施しました。

## ○就職支援

新型コロナ禍において、就職課ではこれまで以上に学生の支援を行えるよう、多くのプログラムをオンライン化し、実施してきました。企業の採用スケジュール・選考方法に大きな変更が生じ、多大な影響を受けた4年生から、これから就活が本格化する3年生、将来に不安を抱える低学年まで、それぞれの学年に合った支援・プログラムを実施し、キャリア支援を継続しています。就職課職員、キャリアカウンセラーによる個別相談はMicrosoft Teams等を使用しオンラインで実施しています。プログラム内容については就職課のページでもご紹介しています。

## ○地域交流・国際交流

地域交流については多くの活動が中止・延期になる中で、春学期～夏休みは一部の活動のみがオンラインで実施されました。秋学期は対面授業再開に伴い、文京キャンパス内で一般向けのイベントを実施したほか、キャンパス周辺での活動を一部再開しましたが、二度目の緊急事態宣言を受けて、年明けよりオンライン中心の活動に戻っています。

国際交流については、今年度の海外研修は全て中止となりました。現在、オンライン研修のみが実施されています。学生に好評の「英会話サロン」はオンラインで実施しています。

## ○今後について

今後の新型コロナウイルスの感染状況は予断を許しませんが、当分の間は一進一退が続くものと思われます。そうした中でも、すべての学生に学びの機会を保証し、1日も早く通常の学生生活を送ってもらえるように、大学として努力してまいります。4月以降の授業は対面で行うことを原則としますが、現在の感染状況に鑑み、当面は対面授業と遠隔授業とを併用することとしています。感染防止対策をしっかりと取りながら質の高い授業が提供できるようにしたいと考えています。

今回のコロナ禍であらためて確認できたことは、大学は「教員と学生」「学生と学生同士」が教え、学びあう場であるということです。学生のいないキャンパスほど寂しいものはありません。コロナ感染が落ちついて、すべての学生が1日も早くキャンパスに戻って来られる日が来ることを切に願っています。



## 学生会情報

2020年度 学生会本部 副会長 舛谷 聡子

ごきげんよう。春寒ようやくぬるみ始めたこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

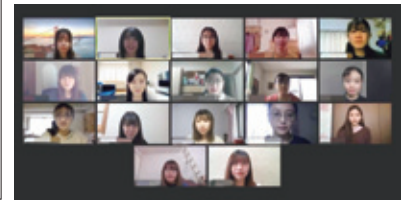
学生会本部では、12月4、5日の2日間にわたり初のオンラインイベントとなる「タニタ健康セミナー」を開催いたしました。1日目は、「より健やかに美しく 筋肉美を目指そう」という女性ならではの悩みの対処法や生活習慣のポイントなど、実例を踏まえながら講師の方に説明していただきました。2日目は、「ヘルシーレシピのコツ・健康的な食習慣を身につけるために」という、外食やコンビニでのメニュー選びのポイントなど実践的な内容を教えていただきました。コロナ禍のためお家で過ごす時間が増え、肌寒くなり免疫力が低下する冬だからこそ、健康に気をつかおうと改めて考えることができました。また、今年度は学生会主催のクリスマスパーティーや洋食・和食テーブルマナー講習会が中止となりました。毎年多くの学生に参加していただいていたため、とても残念でしたが、来年度、開催が決まりました際には、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

今年度は、未曾有の事態で不安も多くありましたが、役員全員で協力しながら活動いたしました。3年生の先輩

方が引退されると、学生会本部は新体制となります。これからは、先輩方が築き上げてきた学生会を受け継ぎ、跡見学園女子大学がさらに発展するよう活動して参ります。

4月には新入生を迎えます。学生会本部で、新入生に配付する冊子を作成しております。冊子には跡見のクラブ・愛好会の説明や学生食堂のメニュー紹介などを掲載する予定です。冊子作成にあたり、広報役員は所属団体と協力しながら進めております。

私たち学生会本部は、跡見生が充実した大学生活を送り、毎日を楽しめるよう精進して参りますので、今後ともよろしく願っています。



NPO法人ヘラルドの会が主催した、第2回ロシア文学読書感想文コンクール「私のトルストイ」において、本学学生が優秀作を受賞しました。

### 第2回ロシア文学読書感想文コンクール「私のトルストイ」優秀作を受賞して

文学部 現代文化表現学科 2年 杉谷 萌希

今回賞をいただいた『アンナ・カレーニナ』は、ロシア文学の講義の最終課題だったものです。恥ずかしながら初めてロシア文学に触れ、文豪トルストイを知り、この機会を逃したら一生『アンナ・カレーニナ』を読むことはないだろうと思っての題材選択でした。いえ嘘です。木村敦夫先生が「アンナ・カレーニナで課題を書いたら+20点」とおっしゃったので、まんまと+20点の人参を追いかけ、長い長い『アンナ・カレーニナ』に取り組んでしまったというのが本当のところ。作成に関しての先生からのご指導は「普段自分が話しているような言葉で書いてよい」「内容は書かない」「全体でなく一部分を取り上げ、そこを強くプレゼンする」などだったと記憶しています。この3点は忠実に守ったつもりですが、これが感想文の書き方だったとは。小・中学生時代の感想文の苦手意識が吹き飛ばす思いでした。もう自分自身が感想文を書く機会は多くないと思いますが、もし将来子供を持つことがあったならば、この3点は伝授できると一人ほそ笑んでいます。

最後になりますが、本来ならば数多くの提出物の中のひとつとして埋もれていくはずの文章を拾い上げてくださり、「受賞作品」というラッピングをして手元に戻してくださった木村先生には本当に感謝しております。ありがとうございました。



### 学生活動の紹介「第2回学生子ども食堂ネットワーク全国大会 -ONLINE-」に参加して

マネジメント学部 生活環境マネジメント学科 3年 三橋 怜奈

私は、友人らと共にオンライン上で小学生から高校生までの勉強のサポートをする学習支援団体R/Mを立ち上げ、活動していたところ、「第2回学生子ども食堂ネットワーク全国大会 -ONLINE-」の主催者の方から、「学生活動家を集めて公開討論会型のイベントを行うので登壇者として参加しないか」というお誘いを受けました。

私は団体の代表として、社会問題を解決したいと考え行動している多くの仲間との出会いの場になると考え、これをお受けしました。

イベントの趣旨は、日本全国でフードロス、フードパントリー、学習支援をテーマに活動する学生団体を集め議論する場を設けることで、将来を担う若者たちへエールを送るとともに大人達に知ってもらうこと、そして団体同士のコミュニティの形成でした。

私は、このイベントに参加し、様々な成功事例を知ることが出来ました。

少額の予算で絶大な広告効果を得た事例、社会人と協力することで場所を借り大々的に催しを行った事例、何年も地道な活動を行い何百人規模にも拡大した事例など、実に様々な事例が紹介されました。

各団体の代表者と話をし、単に彼らの運が良かっただけでなく、何かの才能があっただけでなく、ただ自分の考えたことを実行するための仲間を募り、懸命に活動を続けたことにあると感じました。

私はこれからも彼らと肩を並べていけるよう、活動し続けたいと思っています。

## クラブ・愛好会体験入部会2020報告

学生会本部 赤羽 真美

11月7日(土)、新座キャンパスにて学生会主催「クラブ・愛好会体験入部会2020」を開催しました。公認団体から愛好会まで15団体が参加し、1年生の興味が沸く体験入部会が行われました。

毎年体験入部はグリーンホールまたは花蹊メモリアルホールに1年生を招き、各団体が準備したものをステージなどで発表する形をとっていました。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大学に入構できず、春学期は各団体、活動停止となり、例年通りに新部員を集めることが困難でした。そこで私たち学生会は、少しでも各団体の部員獲得に協力できるよう、今回のような体験入部会を企画しました。はじめに各団体の部長に、このような状況でも対面で体験入部会を実施するとしたら参加してくれるか、アンケートをとったところ、10団体以上が「参加したい」と回答してくれたため、開催を決定しました。次に、正式に参加してくれる団体には、当日の参加部員数を連絡するようお願いしました。このような時期ですので、大人数は控え、少人数でも出来る範囲内の体験入部会を行ってもらうように連絡した結果、15団体もが参加してくれました。

徹底した感染予防対策のなか、合計152人の方々が入部会に来てくれました。土曜日の13:00～16:00という時間帯であったため、授業終わりに参加してくれた1年生も多く、「クラブ団体には興味がなかったけど、時間があつたので参加したら、入りたい団体や興味がある団体を見つけた」という声も聞くことが出来ました。終わりには、各団体からも、このような状況で体験入部会を開催したことに感謝をされ、改めて例年通りに出来ないからといって全てを諦めるのではなく、工夫をしながら行事を開催することが学生のためになる、と気づくことが出来ました。

各団体の活動が厳しい中で少しでも団体を知ってもらうこと、1年生にとってはそこから縦にも横にも繋がりを築けること、そこに協力することができた行事となりました。



## CLUB Now

### ダンス部〈A☆fig〉

部長 富田 理紗

ごきげんよう!ダンス部A☆figです。私たちは週に1回、外部講師をお呼びして、jazzやHip-Hopを中心に活動をしています。活動日は毎週火曜日と木曜日で、新座キャンパス体育館か文京キャンパス体育館にて、5限終了後～20:00まで行っています。

主な活動は、毎年行われる紫祭(大学祭)に参加させていただき、たくさんのお客様に楽しんでいただいています。少しでもたくさんの方に楽しんでいただけるように、部員同士でも話し合い、日々のレッスンに励み、パフォーマンス力を上げています。その結果、例年、紫祭のパフォーマンス部門で優勝しています。他にも、ダンスのイベント「PARTNER」に参加させていただいています。

初心者でも経験者でも大歓迎です。私たちと一緒に大学生活の思い出を作ませんか?少しでもダンスに興味のある方はTwitterにご連絡ください。Twitterには過去に披露した紫祭の映像も投稿しておりますので、そちらをご覧ください。部員一同お待ちしております。



### 軽音楽部

部長 松本 美穂

ごきげんよう。跡見学園女子大学軽音楽部です!軽音楽部は、月曜日～土曜日に、バンド毎に新座キャンパスや文京キャンパスで活動しております。各自でバンドを組み、ライブや紫祭(大学祭)に向けて教室やスタジオを借りて練習を行います。その他には、交流会や長期休暇には合宿、他大学との合同ライブも行っております。

軽音楽部に入りたいけど「楽器未経験だからちょっと・・・」「バンド組めるかな・・・」と不安になる方も多いと思います。しかし、跡見学園女子大学軽音楽部では、外部講師による楽器指導や、バンド決め交流会、楽器をかうにあたってのサポートをする楽器購入会を行っております!その為、未経験の方でも安心して入っていただけます!

皆さん、私たちと一緒にこの大学生活で音楽活動を始めてみませんか!Twitter等で活動情報を随時更新していきます。部員一同、お待ちしております!







## 2020年度 学内講演会 開催報告



### 全学共通科目運営センター

- 2020年度全学共通科目運営センター主催 FD講演会
  - 日時：2020年11月7日(土) 14:40～16:10
  - 方法：オンライン開催
  - テーマ：オンライン授業の質の向上を目指して
  - プログラム：1.開催の挨拶 全学共通科目運営センター長 吉澤 京子
  - 2.学生の声
  - 3.Digital Learningのレクチャー／質疑応答
    - 題 目：Digital Learningの意味・方法、及び授業における活用
    - 講 師：クリストファー・ブルスミス准教授(人文学科)
  - 4.オンライン授業Q&A(基本から応用まで)／全体討論
    - Google フォームによる事前アンケートに対する応答
    - 応答者：横田 恭三教授(人文学科)
    - 伊藤 稔教授(現代文化表現学科)
    - 三輪 健太郎講師(現代文化表現学科)
    - 中西 太郎准教授(コミュニケーション文化学科)
    - 丸岡 吉人教授(マネジメント学科)
    - 中村 仁准教授(観光デザイン学科)

### 文学部

- 文学部 教育・研究支援委員会主催 FD講習会
  - 日時：2020年6月24日(水) 18:00～19:05
  - 方法：オンライン開催
  - 発表者：①加藤大鶴准教授(人文学科)
    - 「動画を利用したオンデマンド型授業の一報告—受講生からのアンケートを交えて」
  - ②クリストファー・ブルスミス准教授(人文学科)
    - 「緊急遠隔授業とオンライン学習：違い・実行例・ツール」
- 日時：2020年7月15日(水) 15:00～16:05
- 方法：オンライン開催
- 発表者：①真辺美佐准教授(人文学科)
  - 「Microsoft Teamsでのリアルタイム授業の実践とその限界」
- ②三輪健太郎講師(現代文化表現学科)
  - 「オンライン授業における資料配布型講義の実践例～双方向的授業の模索～」

### 観光コミュニティ学部

- 観光コミュニティ学部主催 FD講演会
  - 日時：2020年10月21日(水) 13:00～14:30
  - 方法：オンライン開催
  - テーマ：ハイブリッド授業に関するFD講演会
  - 発表者：①坪原紳二教授(コミュニティデザイン学科)
    - 「ハイブリッド授業とは」
  - ②土居洋平准教授(コミュニティデザイン学科)
    - 「ハイブリッドゼミ実施に向けた試行錯誤の報告」

### 心理学部

- 心理学部 教育・研究支援委員会主催 FD講演会
  - 日時：2020年6月2日(火) 16:20～17:50
  - 方法：オンライン開催
  - テーマ：Teamsを使ったオンライン授業の工夫
  - 発表者：小栗貴弘准教授(臨床心理学科)

### その他講演会

- <学生サポートセンター主催>
  - 2020年度教職員のためのカウンセリング研修会
    - 日時：2020年11月11日(水) 13:00～14:30
    - 方法：オンライン開催
    - 演 題：障害のある学生への合理的配慮
      - 特に精神・発達障害学生への配慮のポイントを中心に—
    - 講 師：中島範子氏
      - 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター
      - 発達障害学生支援(RADD)プロジェクト アセッサー
    - 参加者：136人
    - 概 要：障害のある学生への合理的配慮について、カウンセリング研修会を開催しました。本学の学生支援室に障害や疾病により支援を申し出ている学生の約7割は発達及び精神障害の学生です。身体障害と違い、できることとできないことがわかりにくい為、特にオンライン授業になってからは対応の相談が多く寄せられていました。そこで今回発達及び精神障害の学生への合理的配慮について、筑波大学DACセンターより講師をお招きし、筑波大学で実施されている具体的な支援方法、学生との建設的対話の必要性、オンライン授業での対応方法、授業のユニバーサルデザインなどをご紹介いただきました。参加者からは「具体的な内容で参考になった。」「障害に個人差がある為、対応が多様になると感じた。」との感想がありました。

### <ハラスメント防止対策委員会主催>

- 講演会
  - 日時：2020年9月16日(水) 14:00～15:30
  - 方法：オンライン開催
  - 演 題：大学からハラスメントをなくすために—法改正を踏まえて
  - 講 師：内藤忍氏
    - 独立行政法人 労働政策研究・研修機構(JILPT)
    - 労使関係部門 副主任研究員
  - 参加者：160人
  - プログラム：1.学長挨拶
  - 2.講演会
  - 3.パネルディスカッション
    - パネラー：秀あや美教授(マネジメント学科)
    - 塩月亮子教授(観光デザイン学科)
    - 前場康介准教授(臨床心理学科)

- ①法改正によって、組織として整えるべき規定や組織体制とは
  - ②ハラスメントとは何か(管理職、教職員として取るべき態度はなにか?)
  - ③大学特有の課題と、組織運営上の特徴や工夫
  - ④大学として望ましい取り組み(規程や組織体制等)はなにか
- 概 要：ハラスメント防止対策委員会は講演会を毎年開催することで、教職員のハラスメントに対する認識を深める機会を設けてます。今年は、2020年6月に施行された、いわゆる「パワハラ防止法」やセクハラ措置義務の強化に関わって、最新の状況を把握するために行いました。講師はハラスメント問題の専門家である内藤忍(労働政策研究・研修機構副主任研究員)です。内藤氏はさまざまな調査結果より、日本におけるハラスメントの状況と問題の所在を紹介されるとともに、実際に起きた事件等を踏まえ、なぜ法規制の強化が行われたのかを解説されました。講演会の後半にはハラスメント防止対策委員から内藤氏に質問をすることで、とくに大学において求められる対応について論点を深めるやり取りも行いました。法が求めることは雇用関係にある労働者に対する措置の強化であります。大学においては直接的な雇用関係にない学生への対応も求められること、また教育実習等におけるハラスメント事案に対しても受け入れ先に調査を申し入れる等、より積極的な対応が求められることなどが明らかとなりました。

## 2020年度

## 各種研究助成報告

## 2020年度 国内留学助成

種別	所属	氏名	職位	留学する大学等	留学期間
国内長期	文学部	寺本 敬子	准教授	国際日本文化研究センター	2020.4.1~2020.12.31
国内長期	文学部	吉田 さち	准教授	東京大学大学院 総合文化研究科言語情報科学専攻	2020.4.1~2021.3.31

## 2020年度 特別研究助成費

単位：円

所属	氏名	職位	研究課題	採択額
文学部	石田 信一	教授	旧ユーゴスラヴィア諸国における歴史教科書の比較研究	1,000,000
文学部	副島 善道	教授	本邦寺院伽藍配置に見られる時間表象の美学的確認	895,000
文学部	中西 太郎	准教授	埼玉県中西部地域における方言データベースの構築	613,000
文学部	穂苅 友洋	講師	母語、第二言語、第三言語間での交差言語的影響の研究：韓国語母語話者による日英語受動文に対する容認性判断調査から	620,000
観光コミュニティ学部	河村 英和	准教授	日本人のスイスへの憧憬を具現化した20世紀建築群の類型変遷史	1,000,000
心理学部	酒井 佳永	教授	精神疾患をもつ人の配偶者が体験する困難と支援ニーズに関する研究 -患者の疾患および配偶者の性別による差異に着目して-	970,000
心理学部	宮岡 佳子	教授	成人発達障害患者が持つ困難とその対処 -成人発達障害に適した個人精神療法の技法に関する予備的研究-	429,000
心理学部	板東 充彦	准教授	社会的文脈包含型コミュニティ・アプローチに関する展望	473,000

## 2020年度 学術図書出版助成

単位：円

所属	氏名	職位	出版物タイトル	助成費
マネジメント学部	崔 勝溟	教授	『日本的雇用の経営学』	1,000,000

## 2020年度 科学研究費助成事業

単位：円

所属	氏名	職位	研究種目	研究課題名	R2直接経費
文学部	石田 信一	教授	基盤研究 (B)	バルカン諸国の歴史教育から見た紛争と和解の研究	期間延長
文学部	森谷 裕美子	教授	基盤研究 (C)	先住民の出稼ぎ労働をめぐる国際移動・国内移動	700,000
文学部	安本 真弓	教授	基盤研究 (C)	現代中国語における可能表現の学習効果 -導入及び習得データに基づく実証分析	期間延長
文学部	加藤 大鶴	准教授	基盤研究 (C)	資料横断的な漢字音・漢語音データベース構築・公開に向けた基礎的研究	800,000
文学部	真辺 美佐	准教授	基盤研究 (C)	板垣退助の政党論と政党指導	1,000,000
文学部	要 真理子	教授	基盤研究 (C)	ウィングダム・ルイスのメディア論 -アートとイデオロギーの交錯	1,100,000
文学部	中西 太郎	准教授	基盤研究 (C)	日台あいさつ表現変化モデル構築に関する研究	1,000,000
文学部	吉田 さち	准教授	基盤研究 (C)	在日コリアンおよび在樺コリアンにおける言語接触・方言接触に関する社会言語学的研究	1,000,000
マネジメント学部	山澤 成康	教授	基盤研究 (C)	統計改革を反映したGDP予測 -ビッグデータを利用したナウキャストニング	350,000
マネジメント学部	郷 香野子	講師	若手研究	事例ベース意思決定理論 (CBDT) のマーケティングへの適用	1,000,000
マネジメント学部	横堀 応彦	講師	研究活動 スタート支援	現代ドイツにおける劇場環境の変化とドラマトウルギーの相関性の解明	700,000
観光コミュニティ学部	河村 英和	准教授	基盤研究 (C)	19世紀スイス・シャレー建築の理想イメージの変遷と国内外受容文化史の構築	900,000
心理学部	酒井 佳永	教授	基盤研究 (C)	軽躁チェックリスト他者評価版を用いた効果的な双極性障害のスクリーニング法の開発	期間延長
心理学部	前場 康介	准教授	若手研究	大学生の進路選択セルフ・エフィカシー情報源尺度の作成と新たな介入プログラムの開発	1,100,000

## 2020年度 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 委託研究開発費

単位：円

所属	氏名	職位	事業名	研究課題名	R2直接経費
心理学部	鈴木 眞理	特任教授	長寿・障害総合研究事業	摂食障害を抱える家族のピアサポート研修プログラムの開発	2,400,000

## 就職課 Information ～就職部 就職課～

### 3年生対象「PBLプログラム(課題解決型プログラム)」を実施しました

2020年夏、就職部就職課では約1か月間の課題解決型プログラムを実施しました。提携先企業のパイブドHD株式会社は、IT技術を活用した多角的な経営が強みの大手企業です。今回はIT技術による地域振興を担うグループ企業、株式会社アイラブとタイアップ。「コロナ禍における新しい地域振興イベントを考える」というテーマが出題され、全6グループ、29名の学生が課題に挑みました。

今年度の課題解決型プログラムは、多くの企業でもリモートワークなどで利用される「Microsoft Teams」を活用し、全日程オンライン上での実施となりました。参加学生は、オンライン上のコミュニケーションに当初は苦戦しつつも、Teamsの機能をフル活用した情報共有と積極的な意見交換によって、限られた時間の中で最大限の成果を上げることができました。

プログラムの最終日、企業担当者への最終プレゼンテーションでは、各チームから個性的なプランが提案されました。中でも最優秀賞を獲得したチームAによるプラン「下北沢シアターフェス」は、論理的なプレゼンテーションの構成と、コロナ禍の先を見据えた長期的な集客プランが評価されました。

参加した学生からは、「オンラインでのワークは初めての経験で、勉強になった」「企業の方に意見やアドバイスを頂けたことでよい経験ができた」「就職活動に向けた自信につながった」という感想が挙がりました。

今後も就職課では、時流に合った新しいコンテンツを積極的に取り入れつつ、学生の幅広い進路選択をサポートしてまいります。

### 1・2年生対象「社会人インタビュー」を実施しました

本プログラムは、就職活動に向けて学生が低学年のうちから自ら進路を考え、自身が働く姿をイメージできるようにすることを目的に昨年より実施しています。本年度は企業5社(株ミニミニ、日本システム技術(株)、株リョーサン、株インホールディングス、株トイカード)にご協力いただき、8～9月にかけて実施し、1・2年生20名の学生が参加しました。オリエンテーションから事後研修までの全4回の集合研修では、学年混合のチームに分かれ、企業研究やインタビュー項目についてのグループワークや発表を行いました。コロナ禍で全てオンラインでの実施となったため、初めは学生達に戸惑いも見られましたが、グループワークを通じて環境にも慣れ、主体性も身につけてきたように感じられました。各企業へのインタビュー当日は、緊張しながらも、事前に準備をした質問項目について、学生自ら企業の担当者に積極的に

質問することができました。

参加した学生からは「自分の知らない職種や企業について学べる良い機会となった」「不鮮明であった社会人の姿を明確にイメージすることができた」「就職活動について意識するようになり、将来のキャリアを考える上で貴重な経験となった」「自分の未熟さを感じたので、今後は自ら積極的に行動し何事にも挑戦していきたい」といった声が聞かれました。

早期の企業研究やインタビューを通じて、実際に働く社会人の生き生きとした姿を肌で感じる事ができたことは、学生達にとって社会を知るための第一段階として有効なプログラムであったと思います。

今後もより多くの学生に参加してもらえよう、プログラムの充実化を図ってまいります。

### コロナ禍における就職支援

コロナ禍において就職課では社会情勢および学生のニーズに鑑み、当初の予定を大幅に変更して臨機応変に就職支援を行ってきました。

4年生の就職活動においては、採用計画の見直し、企業説明会や面接の延期またはオンライン化など、企業の採用スケジュール・選考方法に大きな変更が生じ、多くの学生が影響を受けました。3年生の就職活動においても同様に、多くの企業でインターンシップやセミナーがオンライン化、また延期されるなどの影響を受けています。本年度は授業がオンライン中心となったため、当初予定していたプログラムを自宅から視聴・参加できるよう、急遽コンテンツや講座の組換えや形式の変更を行いました。個別支援については対面の他、オンライン・電話・メールによる相談を取り入れ、学生のニーズに応じて実施しています。

1～2年生についてもオンラインでの進路ガイダンスやメール相談に対応し、将来に不安を抱える学生に対して、キャリア支援を継続しています。

### 本年度実施した主なガイダンス・セミナー

4年生	「WEB面接対策講座」「21年卒対象学内企業説明会」「就職なんでも相談会」「就活フォローアップセミナー」「キャリアカフェ(民間の就職エージェントや公的機関の協力を得て実施する個別求人紹介)」
3年生	「筆記試験対策ガイダンス」「キャリアセミナー(全8回)」「グループ面接練習会」「ランチセミナー(就職エージェントの協力を得て就職に関する様々なテーマについて昼休みにミニ講座を実施)」「インターンシップのための非言語(筆記)対策講座」「3年生WEB就活対策講座」「PBLプログラム(課題解決型プログラム)」「秋期筆記試験対策講座実践編」「令和2年度3年生保護者対象『保護者のための就職セミナー』」「実践就活メイクアップ講座」「公務員試験対策基礎講座」「秋冬インターンシップ基礎講座」「グループディスカッション演習」「文系女子向け・よくわかるIT業界セミナー」「人事が教える模擬面接実践(予定)」
2年生	「秋学期2年生キャリアデザインガイダンス」「ATOMI就業力育成プログラム」「筆記試験対策講座」
1年生	「社会人インタビュー」
1～3年生	「人事が教える業界研究(学内業界研究会)」「公務員セミナー」「教員セミナー」「インターンシップガイダンス」「U・I・Jターンセミナー」「内定者に聞こう!」「OGと話そう!」「ATOMIキャリアフォーラム(学内企業研究会・説明会)(予定)」
1～4年生	「進路ガイダンス(春学期オリエンテーション時に実施)」「大学院セミナー」



## ICT環境整備について 情報メディアセンター

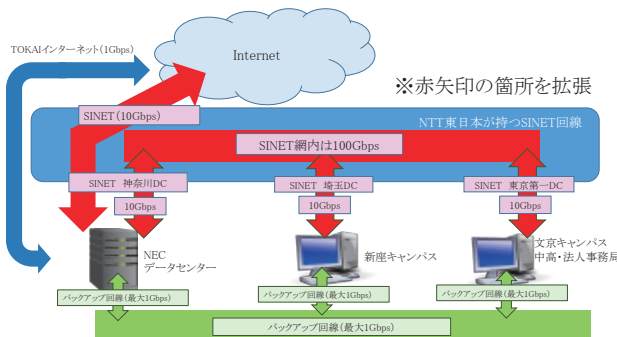
本学では、ICT環境整備中期目標に基づき、学内整備を行っております。今年度は、ポータルシステムの更新（2021年4月稼働）、教室AV機器の更新、アクティブ・ラーニング教室の設置、Wi-Fi整備を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いオンライン授業となったため、Withコロナ、Afterコロナも見据え、ネットワーク回線の拡張やWi-Fiの追加設置も急遽行いました。さらに、今後は学生や教職員が自分のPCやタブレットを持参し、学内Wi-Fiに接続して利用することが増えると思われるので、セキュリティ対策として、学生ならびに教職員に対し、ウイルス駆除ソフトウェアを無償で配付することといたしました。

今後も学修環境の整備に努めたいと存じます。

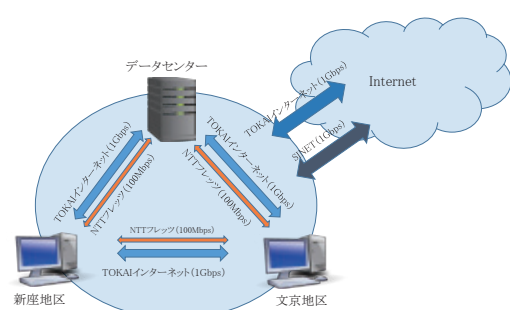
### ◆ 安定したネットワーク環境の提供を目指して -ネットワーク回線帯域の拡張-

ポータルサーバへのアクセス集中によるネットワーク遅延はこれまでも発生していましたが、特に今年度はオンライン授業の影響で、授業開始時刻に度々遅延が起き、授業に支障が出ました。これを改善するために、大学（学園）からインターネットに接続するネットワーク回線2回線のうち1回線の通信速度を、1Gbpsから10Gbpsへ拡張しました（下図参照）。今後は安定した情報提供が可能になると考えられます。

拡張後のネットワーク回線 ※バックアップ回線含む



拡張前のネットワーク回線



### ◆ 新座キャンパスでもWi-Fiが使えます! -1~3号館教室のWi-Fi整備を実施-

今年度事業として、新座キャンパス2号館と3号館の教室のWi-Fi整備を予定通り行いました。また、コロナ禍においては、授業形態も対面とオンラインとの組み合わせや教室分散型になることを踏まえて、1号館の1~3階教室（38教室）にWi-Fiのアクセスポイントを追加設置しました。これにより、教室へ私物PCを持ち込み、クラウド上に保存した文書や資料をその場で開いて利用することが可能になります。

### ◆ サイバー攻撃からシステムを守れ! -ウイルス駆除ソフトウェアの無償提供-

昨今、大学・研究機関がサイバー攻撃の標的にされ複数の大学で情報流出の被害が発生しています。学内Wi-Fiの環境整備が進み、学生や教職員が私物PCを学内Wi-Fiへ接続する機会も増えることとなりますので、安心して学内で私物PCをご利用いただけるよう、在籍する学生、教職員に対し、学内Wi-Fiに接続する私物PCにインストールするウイルス駆除ソフトウェア（ウイルスバスター）を無償で配付することといたしました。サイバー攻撃をすべて防衛することは極めて困難ではありますが、可能な限り、今後も防衛に努める所存です。なお、現在、全学生に当該ソフトウェアの無償提供を行っている女子大学は、全国でも数校のみとなっております。

### ◆ 新ポータルシステム、4月に始動! -ポータルが新しく、使いやすくなります-

ポータルサーバの老朽化に伴い、ポータルシステムを新しくしました。新ポータルにログインすると、時間割や自分で入力したスケジュールが大きく表示されます。未読のお知らせや授業の課題等も一目でわかるような表示なので、情報を見逃したということは少なくなるでしょう。また、これまで学生から担当教員へのQ&Aは1つの用件に対して1度だけの送信・回答でしたが、新ポータルではメールのように何往復もやり取りをすることが可能です。課題提出や出欠管理もスマートフォンで出来るようになりました。詳細については、後日配付するマニュアルにてご確認ください。

また、保護者の方もポータルにて本学の行事予定やお知らせ等をご確認いただけるようになります。保護者の方のログインIDとパスワード、ならびにマニュアル等は、あらためてご案内いたします。



### ◆ 新座3号館の演習室をリフレッシュ! -アクティブ・ラーニング教室誕生-

新座3号館の演習室に設置していたAVワゴンが老朽化のため撤去し、あらたに短焦点プロジェクタを設置しました。特に、3251演習室は什器やカーペットも入れ替え、アクティブ・ラーニング教室として改修しました。



# 国際交流活動の紹介

## 2020年度『オンライン』国際交流

2020年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、海外との交流や語学学習に多くの困難が感じられた1年でした。

秋に実施した学生向けアンケートを基に、コロナ禍での国際交流、語学学習について検討をしてきました。終わりの見えない困難な状況が続きますが、このような時期だからこそ今出来る学習、国際交流について皆さんにお届けできるよう、邁進してまいります。

### 《協定校でのオンラインプログラム》

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年長期休暇中に実施している協定校での海外研修が全て中止となりました。この様な状況の中、現地での研修に代わるプログラムとして、協定校提供のオンラインプログラムを紹介、実施しました。現地で経験する全てをオンラインで実現することは出来ませんが、各自のニーズに合わせて参加するプログラムを選択することが出来る点、現地の講師の指導を現地に行くよりも安価で受けることが出来る点など、オンラインプログラムならではの利点も多くあります。

現地での海外研修が再開された後も、オンラインの特徴を活かしたプログラムの継続を検討しています。

#### ■協定校でのオンラインプログラム一覧

- ・(イギリス) スターリング大学/2-Week English Language Programme
- ・(アメリカ) ローワーコロンビアカレッジ/Online Intensive English Program
- ・(台湾) 国立台湾師範大学/MTC online Customized Class
- ・(フランス) 西部カトリック大学/CIDEF オンラインフランス語コース
- ・(ドイツ) ミュンヘン大学/ドイツ語オンライン研修



※その他、海外協定校以外でのプログラム（韓国語）も紹介しました。

### 《オンライン英会話サロン開室報告》

本学では、従来、新座・文京の各キャンパスで「英会話サロン」を開室しています。英会話サロンは、外国人講師と自由な話題で英会話ができる場で、本学学生であれば誰でも利用できます。2020年度は授業と同様に、オンラインにて開室しました。学内で出来る国際交流の場として、今後も大学の状況に合わせて、英会話サロンを開室していきます。

### 《国際Information開設報告》

国際交流課から学生の皆さんに、国際交流、海外留学等に関する情報をお届けするチームをMicrosoft Teamsにて開設しています。今後も有用な情報をお届けして参りますので、皆さんのチーム参加をお待ちしています。（参加方法は国際交流課へお問い合わせください）。

## 令和2年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」について

令和2年度の文の京ゆかりの文化人顕彰事業「朗読コンテスト」本選会が、令和2年11月15日(日)(13時~16時)、跡見学園女子大学プロサラムホールで開催されました。

このコンテストは、文の京ゆかりの文化人顕彰事業のひとつで、文京区と連携をして朗読者に発表の場を提供するとともに、区民の文化活動の一層の促進、特に青少年部門においては、朗読への関心を醸成することを目的として、文京区が主催し、跡見学園女子大学が主管して平成24年度から開催されています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、十分な感染対策を講じた上で開催されました。開会にあたり、成澤廣修文京区長よりご挨拶をいただきました。

今年のテーマは「教科書の中の名作」。文京区ゆかりの、6人の文学作品が課題です。

応募総数276人(一般170名、青少年106名)のうち、NHK放送研修センター日本語センターの録音審査で選ばれた、青少年の部6人、一般の部10人が本選会に出場しました。

広瀬修子氏(元跡見学園女子大学教授、元NHKアナウンサー)、伊藤文樹氏(NHK放送研修センター日本語センター専門委員)、子野日芳和氏(文京区教育委員会 指導主事)の3氏の厳選なる審査の結果、最優秀賞2名(一般の部、青少年の部各1名)と優秀賞4名(一般の部2名、青少年の部各2名)が受賞されました。今年は昨年に続き本学学生が青少年の部の優秀賞に選ばれました。





## 菊坂跡見塾における資料整理・調査活動について

菊坂跡見塾には、前身である旧伊勢屋質店において明治から昭和にかけて使用されていた台帳や生活用具などが1000点以上未整理のまま残されています。この資料を整理・記録する活動を、参加を志望してくれた8名の学生と共に2020年11月9日より開始しました。

本活動は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施しています。参加者は、三村宜敬氏（市川市立歴史博物館学芸員）による資料取り扱いのレクチャーを受講し、受講できなかった場合は受講した参加者たちからレクチャーを受けノウハウを共有した上で活動しています。2020年度の活動成果については、地域交流センター年次報告書『ゆかり』No.2にて報告予定です。

また本活動は、「質草 庶民の暮らしを映す 跡見女子大有志ら『旧伊勢屋質店』所蔵品調査」（『読売新聞』2020年12月3日、朝刊、29面）として新聞にも取り上げられ、12月10日には大成建設株式会社「公益信託 大成建設自然・歴史環境基金」より本活動に対し助成金をいただいております。今後、学生たちがどのような成果を生み出すのか期待が広がります。

参加している学生からは「見たこともない道具が多くておもしろい。活動の成果を菊坂跡見塾での展示や活動にも活かそう」という声が聞かれます。その声からは、本活動を通して菊坂地域の歴史や文化の側面を明らかにしていきながら、菊坂跡見塾の活用、さらなる地域交流活動などに繋がるのが期待されます。今後とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。（地域交流センター・新垣夢乃）



## 公益財団法人 角川文化振興財団と連携協定を締結しました

本学は、公益財団法人角川文化振興財団（所在地:埼玉県所沢市東所沢、理事長:角川歴彦氏）と、教育・文化・研究の分野で相互の人的知的交流を通じて地域に根差した活発で教養豊かな人材育成に寄与することを目的にした連携協定を締結しました。

同財団は、2020年11月6日にグランドオープンをした「角川武蔵野ミュージアム」（所在地:埼玉県所沢市）を運営しています。この施設は、所沢市と株式会社KADOKAWAが推進する「COOL JAPAN FOREST構想」の中核として誕生する、日本最大級のポップカルチャーの発信拠点「ところざわサクラタウン」<sup>(\*)</sup>内の図書館・美術館・博物館が融合した文化複合施設です。世界的建築家の隈研吾氏による建物の中は、約2万5000冊もの書籍を所蔵し、多様なアプローチでラノベ・マンガの魅力を世界に発信する「マンガ・ラノベ図書館」や、アニメを文化として捉え作品を取り巻くエンターテインメント全体とともに取り上げる「EJアニメミュージアム」、約3万冊が並ぶ360度全てを高さ8メートルの巨大書架に囲まれる空間「本棚劇場」、約1000㎡の巨大空間にて物語を持つすべてのものを展示対象とする「グランドギャラリー」など、知と遊が連鎖する施設で構成されています。

本学は、現代社会で生み出されるカルチャーやエンターテインメントといった文化表現を学びの分野とする文学部現代文化表現学科を中心に、全ての学部学科の学びのさらなる充実と、地域との密接な交流・貢献を持続的に実現できることから、本学新座キャンパスから近い東所沢に位置する「角川武蔵野ミュージアム」と現在唯一の連携大学として連携協定を締結いたしました。

積極的な相互交流や協力・貢献の場として、インターンシップなど学生の派遣をはじめ、学芸員資格取得に関連したグランドミュージアムなどでの美術館実習などを検討しています。また、学生による企画提案およびイベントへの参加や、本学キャンパスをミュージアムのサテライトと位置付けた企画への協力など、図書館・博物館・美術館の三部門を最大限に活用した構想が進んでいます。

\*1「ところざわサクラタウン」…KADOKAWAが建設・運営する書籍製造・物流工場や所沢キャンパス（新オフィス）、イベントスペース、ホテル、ショップ&レストラン、ダ・ヴィンチストア、商業施設、そして「角川武蔵野ミュージアム」で構成されており、2020年4月に竣工しました。8月1日よりプレオープンし、11月6日にグランドオープンを迎えました。

## 大学公式サイトおよび受験生応援サイトをリニューアルオープン！

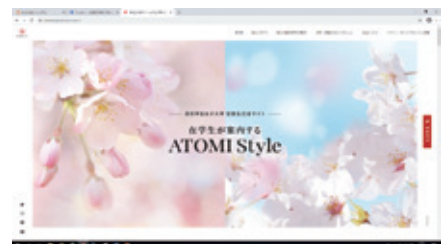
2020年10月12日（月）に大学公式サイトおよび受験生応援サイトをリニューアルオープンしました。より使いやすく、より分かりやすいホームページとなるように、サイトデザインやページ構成を全面的に見直しました。

今後とも内容の充実を図るとともに、より分かりやすい情報を発信してまいります。

■大学公式サイトTOPページ  
(<https://www.atomi.ac.jp/univ/>)



■受験生応援サイト「在学生が案内するATOMIStyle」TOPページ(<https://www.atomi.ac.jp/univ/prospect/>)





## 2021年度 花溪記念資料館展示スケジュール

期 間	展覧会名・展示室 1	展覧会名・展示室 2
<b>2021</b>		
3月25日(木)～ 5月28日(金)	「跡見花溪とその遺産展 II」	
6月21日(月)～ 7月31日(土)	「近現代絵画収蔵品展」	「書道作品展(仮)」
9月25日(土)～ 12月 4日(土)	「跡見花溪とその遺産展 III」	
<b>2022</b>		
1月25日(火)～ 2月 4日(金)	博物館実習生模擬展示	
3月 9日(水)～ 3月31日(木)	「跡見花溪の系脈展 -独創と継承-」	

※展示期間、展示内容は変更することがあります。詳しくは大学公式サイトをご覧ください。

### 2021年度春学期オリエンテーション および学生定期健康診断予定

#### ●学部 新1年生対象

4月2日(金)	学生寮オリエンテーション(入寮者のみ対象)
3日(土)	入学式・新入生説明会(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部) <マネジメント学部> 学科ガイダンス <観光コミュニティ学部> 学部・学科ガイダンス・グループミーティング
5日(月)	<文学部・心理学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・資格課程ガイダンス(文学部のみ)
6日(火)	<文学部・心理学部> 個別面談 <マネジメント学部・観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・グループミーティング・個別面談・社会調査士課程ガイダンス(観光コミュニティ学部のみ)
10日(土)	健康診断(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)

#### ●学部 新2年生対象

3月26日(金)	健康診断(文京キャンパス)(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)
4月7日(水)	<文学部・心理学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
8日(木)	<マネジメント学部・観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・グループミーティング・個別面談・学科ガイダンス(観光コミュニティ学部のみ)

#### ●学部 新3年生対象

3月25日(木)	健康診断(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)
30日(火)	<文学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
31日(水)	<マネジメント学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・グループミーティング・個別面談
4月7日(水)	<観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・社会調査士課程ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
8日(木)	<心理学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

#### ●学部 新4年生対象

3月24日(水)	健康診断(午前:文学部・心理学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)
30日(火)	<文学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
31日(水)	<マネジメント学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・グループミーティング・個別面談
4月7日(水)	<観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・グループミーティング・個別面談
8日(木)	<心理学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

#### ●大学院生対象

3月26日(金)	<マネジメント研究科のみ(文京キャンパス)> 健康診断
31日(水)	<マネジメント研究科のみ(文京キャンパス)> 履修ガイダンス(2年生)・専攻ガイダンス(2年生)
4月3日(土)	<両研究科新1年生のみ(新座キャンパス)> 入学式・専攻説明会他(午前:人文科学研究科、午後:マネジメント研究科)
7日(水)	<人文科学研究科のみ(新座キャンパス)> 履修ガイダンス(2年生)・専攻ガイダンス(2年生)
10日(土)	<人文科学研究科のみ(新座キャンパス)> 健康診断

### ◆春の行事予定◆

3月	17日(水)	第53回学部卒業式・第15回大学院修了式
4月	3日(土)	第57回入学式
	13日(火)	春学期通常授業開始

### ●履修申請期間●

#### ●Web履修登録申請期間

- 1次 <全学年> 4月7日(水)、8日(木)、9日(金)  
2次 <全学年> 4月13日(火)、14日(水)

#### ●履修登録状況(抽選結果)発表

4月13日(火)、17日(土)

#### ●履修登録訂正手続期間

4月17日(土)、19日(月)

## Open Campus のご案内

オープンキャンパスでは、在学生や教職員による個別相談コーナーや、在学生がガイドになってキャンパスを紹介するキャンパスツアーなど、大学の雰囲気を知ることができる様々な企画を用意しています。ぜひご参加ください。

### Open Campus Schedule

3/27(土) 【新座キャンパス】	5/23(日) 【新座キャンパス】	6/20(日) 【文京キャンパス】	7/18(日) 【文京キャンパス】
8/1(日) 【文京キャンパス】	8/21(土) 【文京キャンパス】	9/26(日) 【新座キャンパス】	11/7(日) 【文京キャンパス】

#### \*実施予定企画

大学説明/入試説明/教員による個別相談  
在学生による個別相談/キャンパスツアー 等

\*開催時間や参加方法などの詳細は、大学公式サイトにてご確認ください。

\*10月30日・31日の紫祭(大学祭)には、入試相談コーナーを設置いたします。

\*その他、入試に関するお問い合わせは、入試課(TEL:048-478-3338)までお願いいたします。